

断想

宮本百合子

青空文庫

人類が、生命の本然によりて掛ける祈願の前に、私共は謙讓であり、愛に満ちてありたい。

あらゆる悲惨の彼方へ、あらゆる不正と、邪惡との彼方へ！ 其れは利己的な、一寸法師の「我」が探求する事なのではないのだ、と想う。お互の魂の純真な憧憬を尊ばなければ成らない。或る人が、嘗て抱いていた希望を破壊されたからと云って、希望其ものの本質まで否定する事は許されない。

幸福と云う事、真実な正義と云う事に就て、私共は何の点^どからも誤たない理解を持っているだろうか。真の幸福や正義が、瞬間的な、或いは詐偽的な目前の方便で支配され、されるべきものだと思っている事は、恐ろしいと思う。

如何ほど聖純な祈願も、祈願する者は、私共である。外の何物でもない。そして又、其祈願が如何程失墜したとしても結局は、其祈願を捧げる私共の中に墜ちて来るのでは無いだろうか。

よきものが或場合受けなければ成らない屈辱や、苦難やを、無頓着らしく冷笑する事は冒瀆である。人類の真実な希願を蹂躪する者は、其の同じ足で、自分の生命を踏み躪って

いるのだ。

私どもは屢々、自分等の足りなさから、失敗しているのは悲しむべき事実である。今、私共が見ずにはいられない事実であるけれども、私共は、失敗フェイルした今日の現象と、其の背後に潜んでいる希願との、恒久性の差を、明かに見て進まなければ成らないのではあるまいか。世界が趨おもむこうとしている方向は、決して幻想郷ではない。人類の意向は、酔狂ではないのだ。

皆が友と成らなければ成らない。皆が互に、互の献物を大切に仕合つてと運ぶべき処が在るのでは無いだろうか、私共の生活を透して、相互に理解し、心から協力し合える範囲が、若し所謂人情の領域にのみ限られているものとしたら、各自の生活は、余り寂しいものである。

〔一九二〇年一月〕

青空文庫情報

底本：「宮本百合子全集 第十七巻」新日本出版社

1981（昭和56）年3月20日初版発行

1986（昭和61）年3月20日第4刷発行

初出：「読売新聞」

1920（大正9）年1月1日号

入力：柴田卓治

校正：磐余彦

2003年9月15日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（<http://www.aozora.gr.jp/>）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

断想

宮本百合子

2020年 7月17日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>